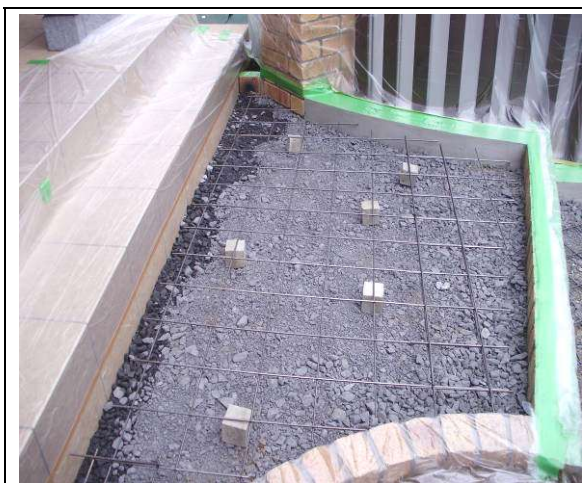


スタンプデコレーション施工要領書



1 施工前の準備

施工面周辺の養生、墨出し、土間型枠設置、伸縮目地の設置、メッシュ敷きの施工、スタンプマットの置き方の検討を行って下さい。伸縮目地は3m毎に設置して下さい。

※下記の状況では施工を延期して下さい。

- ・気温が5℃以下、もしくは5℃以下と予想される場合
- ・施工後、夏季12時間、冬季24時間以内に降雨雪が予想される場合
- ・冬季、コンクリート表面の凍結が予想される場合



2 コンクリート打設

コンクリート舗装と同様に施工個所に生コンを打設します。不陸や水勾配などに注意しながら鍬やトンボを使い、平滑な表面にして下さい（コテなどで出来るだけ平滑に仕上げして下さい）。

使用する生コンの配合は強度21～25N/mm²（冬季は27N/mm²以上）、施工場所や季節や天候に留意し、最適なコンクリートを選定して下さい。

スランプ量	
夏季	180～210mm
冬季	120～160mm

特に夏季施工時はコンクリートが縮まり易いため、打ち継ぎがある場合には打設前に散水を行うなどして、コンクリートの縮まりが均一になるように調整して下さい。



3 カラーハードナー散布（一次着色）

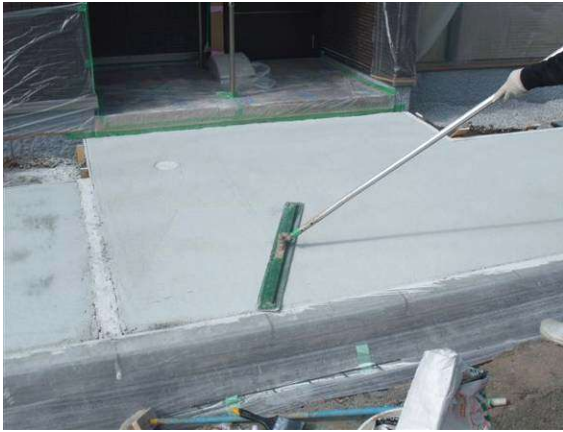
打設した生コンからの表面水が落ちてきたところに、施工面全体の色となるカラーハードナーを散布します。フルイやザルなどを使い施工面に出来るだけ均一に散布し、生コンの表面が隠れるくらいを目安に散布して下さい。

※カラーハードナーはアルカリ性です。散布時には手袋・マスクを着用して下さい。

散布量は2～2.5kg/m²です。

※散布にあたっては風等による近隣被害に十分注意して下さい。





4 コテ押え

散布したカラーハードナーが下地コンクリートの水分を十分に吸水したら、鏝やトンボなどを用い下地コンクリートと一体化するように刷り込むようにして押さえ込んで下さい。

コテ押さえは、20分以内で出来る範囲の面積として下さい。

色合い薄い部分などに2回目のカラーハードナーを散布し、再度コテ押さえ（均し）を行って下さい。



5 スタンプ作業

手袋・マスクを着用して下さい。

打設したコンクリートが、かんじきを履いて上に乗っても深く沈みこまない程度に縮まってきたら、リリースリキッド型押し用（剥離剤）を噴霧器等で噴霧しパターンマットでスタンプ（型押し）を行います。

※リリースリキッドは可燃性の液体です。絶対に火気を近づけないで下さい。

パターンマットにもリリースリキッドを散布しておいてください。

予め策定した施工計画に基づき、基準になる部位に最初のスタンプマットを置いて下さい。パターンマットの角と施工面とを合わせて静かに置いていきます。パターンマット間がずれて隙間が出来ないように注意します。勾配がある所は特にずれやすいので気をつけて下さい。

スタンプパーを用いて十分加圧（叩き押さえ）し、パターン付けを行います。コンクリートの縮まり具合によって、叩く強さを加減して下さい。

※スタンプマットを施工面に乗せ、その上に立ちマットが沈み込まないことを確認し施工して下さい。

端部で硬いマットが置けない所はソフトタイプのマットを使用してスタンプを行います。立ち上がり部分はソフトタイプを折り曲げて使用します。



5 スタンプ作業（続き）

作業は必ず仕上がり具合を確認しながら進め、作業上、手の届く範囲で目地部の修正や端部の修正を行います。写真のような器具や目地ゴテ、笹葉ゴテ等を用いて修正を行って下さい。

※スタンプマットの手入れ

スタンプ作業終了後、マットの劣化を防ぐため中性洗剤で油分・モルタルをよく落とし、乾燥・保管して下さい。

※噴霧器の手入れ

劣化を防ぐため、残りの液体を出した後に中性洗剤で洗浄し清浄な水ですすぎ、乾燥・保管して下さい。



6 養生

パターン付け施工終了後、人の出入りがないようにして下さい。コンクリートの表面がしっかり硬化するまで数日間養生して下さい。必要に応じて雨養生を実施して下さい。

養生期間は、夏季：1～2日

冬季（寒冷地）：2日以上5日まで



7 トッピング作業（二次着色）

手袋・マスクを着用して下さい。

養生終了後、必要に応じてトッピング作業の前に、施工面の補修を行って下さい。

目地の継ぎ目の補正や仕上面のバリの除去など必要な部位を適宜補修して下さい。

補修が終わったら、リリースリキッドとリリースプラス（トッピングカラー）を全体に均一に噴霧します。

リリースプラス（トッピング）は目地や模様の凹部に入り、自然な石の陰影を出すものです。

混合割合

液体離型材 リリースリキッド着色用（4 $\frac{1}{2}$ ）1缶と
リリースプラス（トッピングカラー50g）1袋を十分
に混合して噴霧器で施工面に噴霧して下さい。

凹部や目地部にトッピングカラーが溜まるようになります。そのため、凹部や目地部がやや濃い目に乾燥していきます。

※噴霧器の手入れ

二次着色が終了したら、噴霧器の目詰まり・劣化を防ぐため、残りの液体を出した後に中性洗剤で洗浄し清浄な水ですすぎ、乾燥・保管して下さい。





7 トッピング作業（続き）

乾燥後、必要に応じて色の微調整を行います。
色が薄い場合には、リリースリキッドとリリースプラスを混練したもので色を付けて下さい。



仕上げ表面の凸部の色が濃い場合は、濃い部分を、研磨用たわし（研磨粒子付きナイロン・ポリエステル不織布）等を用いて軽く研磨し色合いの微調整を行って下さい。

※研磨用たわし：がんこたわし（住友スリーエム製）等





8 トップコート仕上げ

手袋・マスクを着用して下さい。

色の微調整後、プロアー等でゴミ・埃を除去して下さい。

その後、表面保護のためのクリアシーラーB（トップコート）を仕上面に塗布します。

クリアシーラーB 塗布するときは、コンクリート面が乾いている状態で施工を行ってください。コンクリート面が水に濡れたりしていると、クリアシーラーB が硬化不良や白化になりやすくなります。

クリアシーラーB 1 缶に対し、付属のノンスリップパウダー（滑り止めの粉体） 1 袋をよく混ぜて下さい。

クリアシーラーB をローラー又は刷毛などで施工面前面に2回塗りで塗布します（目地は、刷毛等で塗布して下さい）。

1 回目が乾いた後に2回目を塗布して下さい。

凹部や目地部にクリアシーラーB が溜まりすぎないようにして下さい。膜厚が厚くなり強度の低下・剥がれの原因となります。

※クリアシーラーB は可燃性の液体です。絶対に火気を近づけないで下さい。

※クリアシーラーB は溶剤系トップコートです。長時間の施工により、気分が悪くなる恐れがあります。もし、そうなった場合には作業を中断し、空気のきれいな場所で安静にして下さい。



9 完成

クリアシーラーB が乾燥・硬化するまでは上に乗らないで下さい。

※車の乗り入れには2日～3日間の養生が必要です。